

在職職員向け法定研修のご案内

【動画】今すぐできる施設の事故防止対策

－10月1日より本格義務化－

6か月ごとに内容を更新するので**新しい知識が身に付く**
 研修講師用マニュアル付だから**誰でも講師ができる**
 確認テスト付きだから**理解度を確認できる**

リスクマネジメント
 情報室会員には
 8月1日より2ヶ月間
 お試し無料配信

今すぐ抜粋版をご視聴下さい！（抜粋版9分・本編44分）

●PC版 → <https://youtu.be/QxJTBRFi4AM> ●スマホ版 →



動画セミナー提供方法

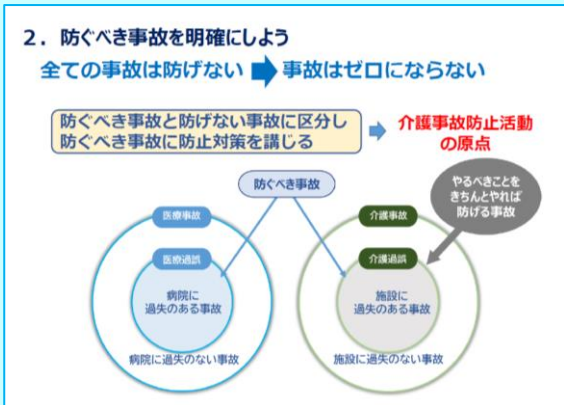
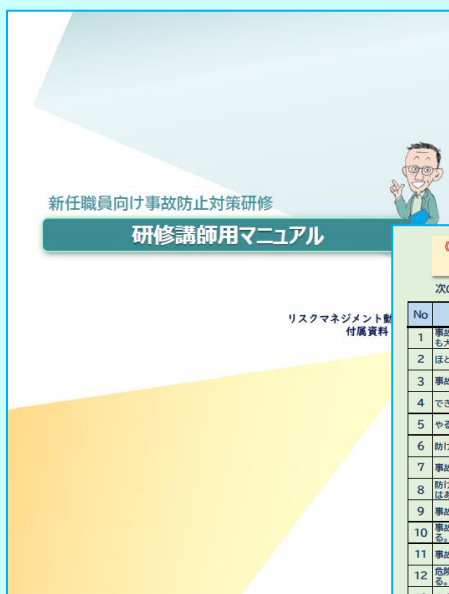
- 提供対象：介護施設・事業者（法人）
- 視聴期間：6ヶ月
- 提供資料：研修テキスト（手持ち資料）
 研修講師用マニュアル
 理解度確認テスト（解答付き）
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業法人44,000円（税込）

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
 申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
 URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

在職職員向け事故防止対策研修の概要

- 《1》事故防止活動の基礎知識
 1. 新しい事故防止活動に切り替えよう
 2. 防ぐべき事故を明確にしよう
 3. 事故を正しく評価しよう
- 《2》事故防止活動の進め方
 1. 事故防止の基本活動
 2. 効果のあがるヒヤリハット活動
- 《3》事故発生時の対応



《新任職員向け事故防止対策研修》
 理解度確認テスト

次の設問が正しければ○、間違っていれば×を回答欄に記入して下さい。

No	設問	回答欄
1	事故の原因は人のミスなので、人がミスしないように管理することが事故防止で最も大切な事である。	
2	ほとんどの事故は職員のミスが原因なので、十分注意して介護をする。	
3	事故防止活動はミスを発見する仕組みづくりが重要である。	
4	できるだけ事故ゼロを目指すことが、責務である。	
5	やるべきことをきちんとやれば、防げる事故もある。	
6	防げない事故をいかに防げるか？という事を中心に防止対策を講じる。	
7	事故の評価は被害の大きさや頻度で判断せずに、質で判断する。	
8	防げない事故については、リスクについてきちんと説明し、ケアの内容や対応については必ず共有する必要がある。	
9	事故防止の基本活動を含るとヒヤリハット活動は効果が出ない。	
10	事故防止の基本活動として、安全ルールをつくり、そのルールを守らせることが大切である。	
11	事故を起こしても、職員個人で賠償金を支払うような事態にはならない。	
12	危険発見活動とはヒヤリとしたり、ハットしたり、事故直前の体験を共有する活動である。	
13	今までやってきた介助方法、特にベテランの介助方法は正しいので事故が起きにくい。	
14	一度把握した利用者の個別リスクは一定ではないため、変化が現れた時にヒヤリハットが起きやすくなる。	
15	ヒヤリハットシートを書けば書くほど事故は減る。	
16	ヒヤリハット事例は原因分析をして対応策を講じる。	
17	原因分析の方法は利用者側の原因3介助職員の原因3介助環境の原因、の3つに分けると効果的である。	
18	事故原因は直接的な原因の背後に、目に見えない本質の原因が隠れている。	
19	事故防止対策は「見守り強化」が一歩効果が高い。	
20	防止対策の立て方は、直前で事故を防ぐ対策を重点的に講じる。	

理解度確認テスト

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275